

令和7年度（2025年度）

札幌市立真栄中学校

全国学力・学習状況調査

調査結果の概要及び改善の方向などについて



令和7年4月17日（木）に3年生を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」につきまして、本校の調査結果をお知らせします。

「全国学力・学習状況調査」の調査報告書については、下記の資料も併せて御覧ください。

- ・ 国立教育政策研究所ホームページ

<https://www.nier.go.jp/kaiatsu/zenkokugakuryoku.html>

- ・ 札幌市教育委員会ホームページ

https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/gakute/gakute_hp.html

□ 学力調査の本校結果概要及び改善の方向について

全国平均との差を、以下のように表記しています。

・ +3.1 ポイント以上	⇒ 「上回っている」
・ +3.0 ポイントの範囲内で全国平均を上回る	⇒ 「ほぼ同程度であるが、やや上回る」
・ 全国平均と同じ	⇒ 「ほぼ同程度」
・ -3.0 ポイントの範囲内で全国平均を下回る	⇒ 「ほぼ同程度であるが、やや下回る」
・ -3.1 ポイント以下	⇒ 「下回っている」

【中学校国語】

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【領域】

「言葉の特徴や使い方に関する事項」

- ・全国平均とほぼ同程度である。

「話すこと・聞くこと」

- ・全国平均より上回っている。

「書くこと」

- ・全国平均とほぼ同程度である。

「読むこと」

- ・全国平均とほぼ同程度である。

●事象や行為を表す語彙について理解すること。

●自分の考えが明確になるように、論理の展開に注意して、話の構成を工夫すること。

●自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと。

●文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えること。

○文中における表現方法や、その効果について考える活動の充実。

○実際の話合いを通して自分が考えたことを基に、話合いを振り返ったりする活動の充実。

○書いた文章を読み合い、読み手の視点から、根拠の妥当性などを考える活動の充実。

○物語における登場人物の効果や、表現について考える活動の充実。

分 類	区 分	全国との比較
学習指導要領の領域	言葉の特徴や使い方に関する事項	「ほぼ同程度」
	話すこと・聞くこと	「上回っている」
	書くこと	「ほぼ同程度」
	読むこと	「ほぼ同程度」
問題形式	選択式	「上回っている」
	短答式	「ほぼ同程度であるが、やや下回る」
	記述式	「ほぼ同程度であるが、やや上回る」

【中学校数学】

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【領域】

「数と式」

- ・全国平均より上回っている。

「図形」

- ・全国平均より上回っている。

「関数」

- ・全国平均より上回っている。

「データの活用」

- ・全国平均とほぼ同程度である。

●式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見出し、数学的な表現を用いて説明すること。

●証明を振り返り、証明された事柄を基にして、新たに分かる辺や角についての関係を見いだすこと。

●事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。

●相対度数の意味や、必ず起こる事柄の確率について理解すること。

○具体例を基に式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見いだして数学的に説明する活動の充実。

○証明の過程や結論を整理し、証明された事柄をもとにして、新たに導かれる関係を見いだす活動の充実。

○問題解決の構想を立てたり、問題解決の過程や結果を振り返ったりする活動の充実。

○実際のデータや具体的事象を扱い、相対度数や確率について理解する活動の充実。

分 類	区 分	全国との比較
学習指導要領の領域	数と式	「上回っている」
	図形	「上回っている」
	関数	「上回っている」
	データの活用	「ほぼ同程度」
問題形式	選択式	「上回っている」
	短答式	「上回っている」
	記述式	「上回っている」

【中学校理科】

今回の調査における課題

- 地層の性質から、水が染み出る場所を判断し、その場所を選択すること。
- 生物の動画を見て、呼吸を行う生物をすべて選択すること。
- 小腸の柔毛、肺の肺胞、根毛に共通する構造と同じ構造をもつものとして適切な事象を判断し、選択すること。



改善の方向

- 露頭のどの位置から水が染み出るかを観察する場面において、小学校で学習した知識を基に、地層に関する知識及び技能を関連付けて、地層を構成する粒の大きさとすき間の大きさに着目し、分析して解釈する学習活動の充実。
- 水の中の生物を観察する場面において、呼吸を行う生物について問うことで、生命を維持する働きに関する知識が概念として身に付いているかどうかをみるなどの学習活動の充実。
- それぞれに共通する構造について学習する場面において、共通性と多様性の見方を働かせながら比較し、多面的、総合的に分析して解釈することができるかどうかをみるなどの学習活動の充実。

※ 理科は、国語・数学とは異なる調査方法（IRT）を採用しており、領域ごとに「概要」を分析することが困難なため、本校の「課題」と捉えられる問題を抽出し、それに対する「改善の方法」を記載します。

【生徒質問調査（生活習慣・学習習慣に関すること）】

【全国と比較して肯定的な回答が多いものを抜粋】

質問番号	質 問 事 項	本 校	全国平均	全国平均との差
6	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	51.0%	46.6%	+4.4
7	将来の夢や目標を持っていますか	42.0%	35.5%	+6.5
8	人が困っているときは、進んで助けていますか	46.9%	37.9%	+9.0
9	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	82.5%	77.1%	+5.4
10	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	35.0%	31.9%	+3.1
11	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	79.7%	71.3%	+8.4
12	学校に行くのは楽しいと思いますか	53.1%	45.6%	+7.5
13	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	42.7%	31.4%	+11.3
15	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	51.0%	46.4%	+4.6
24	読書は好きですか	40.6%	30.3%	+10.3
29-1	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができると思いますか	45.5%	36.4%	+9.1
29-2	あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができると思いますか	58.7%	48.4%	+10.3
29-3	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると思いますか	30.8%	21.1%	+9.7
29-4	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思いますか	47.6%	31.8%	+15.8
35	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	42.7%	35.1%	+7.6
36	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	32.2%	23.0%	+9.2
39	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	53.8%	45.5%	+8.3
40	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	42.0%	29.8%	+12.2
41	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	44.1%	32.6%	+11.5
43	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	65.7%	48.7%	+17.0
45	国語の勉強は好きですか	29.4%	21.6%	+7.8
47	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	64.3%	47.8%	+16.5
48	国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれますか	34.3%	24.9%	+9.4
70	理科の授業で、課題について観察や実験をして調べていく中で、自分や友達の学びが深まったか、あるいは、新たに調べたいことが見つかったか、振り返っていますか	33.6%	22.9%	+10.7



【結果から】

昨年度の反省から、「課題探究的な学習」を意識した授業の実現に向け、指導方法の工夫改善、評価の工夫を行うとともに、生徒理解と個性の伸長を図る実践を重ねたことと、1人1台端末の効果的な活用を実践した結果、学びの質を高めることができ、肯定的な回答の割合が高くなったと考える。また、全教職員で、人間尊重の教育を推進したことにより、生徒一人一人が「自分が大切にされている」と実感できるようになってきたことが、肯定的な回答の割合の増加につながったと考える。

【全国と比較して肯定的な回答が少ないものを抜粋】

質問番号	質 問 事 項	本 校	全国平均	全国平均との差
22	あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（一般の雑誌、新聞、教科書は除く）	10.5%	17.4%	-6.9
52	数学の勉強は得意ですか	14.7%	19.5%	-4.8
61	理科の勉強は好きですか	27.3%	30.0%	-2.7
68	理科の授業では、観察や実験をよく行っていますか	36.4%	40.3%	-3.9



【結果から】

札幌らしい特色ある学校教育の中核をなすテーマ「読書」について、これまで以上に、朝読書の時間を大切にしていく。読書により言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにするとともに、知的好奇心をふくらませ、一生涯にわたり学び続けようとする心を培っていく。さらに、学校図書館の活用に対する活動や「さっぽろっ子読書ウイーク」などの取組を広く発信していく。

また、課題探究的な学習をより一層推進させ、学習指導要領の趣旨に沿った「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指していく。具体的には以下の通り。

AAR サイクルを基に、四つの段階を重視して単元を基本とした課題探究的な学習を推進する。

- ・【イントロダクション】生徒が課題を自分ごととしてとらえる（単元・題材の導入）。
- ・【個別探究】生徒それぞれが自らの学びを進める。
- ・【協働探究】生徒が対話によって思考を再構築する。
- ・【リフレクション】生徒が自らの学びや成長を振り返る。

今後も本校の教育活動を通して、生徒の声を聴き、生徒と真摯に向き合う教育を推進するという姿勢の基に、生徒の困りや悩みに寄り添い、思いや願いの実現に向けた生徒の取組を支え、一人一人の主体性を大切にした多様な学びや成長を支えていく。